

## 会 議 録

1 名 称 新折尾駅周辺整備検討会（平成24年度 第1回）

2 議 題 新折尾駅舎のデザインについて ほか

3 開催日時 平成24年 7月 9日（月）  
14時00分 ～ 16時00分

4 開催場所 建築都市局折尾総合整備事務所 2F 会議室  
（八幡西区折尾四丁目8-18）

5 出席した者の氏名  
（敬称略）（50音順）

北九州市立大学	建築デザイン学科	准教授	赤川 貴雄
西日本工業大学	情報デザイン学科	講師	内田 恵里子
株式会社	洋建築計画事務所	代表取締役	城水 悦子
行橋市	人権男女共同参画課	相談員	野川 みゆき
産業医科大学	リハビリテーション医学講座	教授	蜂須賀 研二

6 非公開とした理由（非公開会議のみ）

議題に北九州市情報公開条例第7条の規定に定める不開示情報に該当する事項が含まれるため

7 議事の概要

（1）新折尾駅舎のデザインについて

大正5年の外観を可能な限り再現させるため、シンボル部材を活かし、建築法規を順守する構造形式や文化財指定の可能性等の検討内容を説明

①駅舎の構造形式

- ・木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の特徴
- ・現在とは異なる大正5年当時の駅舎を文化財指定できないこと を説明

②駅舎の形状

- ・大正5年のデザインを忠実に再現する案（左右非対称）
- ・左右の高架部分との調和を踏まえた案（左右対称） を提示。

## (2) 折尾駅南北駅前広場のレイアウト案について

- ・レイアウトの基本的な考え方  
「交通拠点としての機能強化とゆとりのある空間の確保」
- ・レイアウト素案として3案を提示  
これらを説明した後、ご意見を伺った。

## 8 経 過

### (発言内容)

#### (1) 新折尾駅舎のデザインについて

##### ① 駅舎の構造形式

- ・大正5年当時の駅舎が文化財指定できないのなら、建築法規を順守しながら、今後構造（木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造）を検討していく必要がある。
- ・外観だけでなく、待合空間（改札廻りの空間）確保・再現も重要。  
など

##### ② 駅舎の形状

- ・現在の駅舎は中央部分の左側が1階建て、右側が2階建ての構造（左右非対称）となっているが、新しい駅舎では左右の高架部分との調和を考えると左右対称の方が良い。
- ・検討に際して、機能面とデザインの連続性を考慮する必要があり、高架橋のデザインも並行して検討すべき。  
など

#### (2) 折尾駅南北駅前広場のレイアウト検討案について

- ・筑豊本線高架の北側にはオープンスペース（三角地帯）ができてい  
る。そのスペースを交通機能で用いるのか、あるいは地元のイベン  
ト等で用いるのか、地域の方々の意見を聞きながら検討すべき。
- ・自家用車の送迎が集中する場合、バスの通行に支障をきたすおそれ  
がある。駅前広場内で分離することはできないのか。
- ・駅前広場内には、横断歩道は極力少なくすべき。歩行者と車両が輻  
輳しないような配置を検討すること。
- ・身障車両スペースに一般車両が停めにくいように、タクシー・バス  
などの前にスペースを設けるなどの工夫が必要である。  
など